

# 世界にひらく空と海 広がる和歌山の未来

空の玄関口として発展を続ける南紀白浜空港(愛称:熊野白浜リゾート空港)と、国内外から多くの観光客を迎えるクルーズ客船。この特集では、和歌山の発展のカギとなる空港の利用促進やクルーズ客船の受入に取り組む方の姿、そして県の取組を紹介します。 港湾空港振興課 ☎073-441-3154 ☎073-433-4839



# 空

株式会社南紀白浜エアポート  
代表取締役社長  
岡田 信一郎 さん

空の玄関口 熊野白浜リゾート空港

地域とともにあゆむ

## 熊野白浜リゾート空港ならではの強みは？

熊野白浜リゾート空港の最大の強みは、東京から約1時間で到着できる圧倒的なアクセスの良さです。空港から市街地や観光地まで車で5分、空港自体もコンパクトなので、「飛行機を降りたらすぐ温泉」というほかにはない利便性があります。

## 空港と地域の関係は？

空港が抱える課題を地元の企業や学生と一緒に解決を試みるなど、積極的に地域との連携に取り組んでいます。熊野白浜リゾート空港では、空港DXに力を入れており、地元の農機具会社と連携して、自動草刈りロボットを導入するなどの取組を進めています。

ほかにもバードストライク\*対策を県立田辺高校の生徒と考えており、これがうまくいけば和歌山発の取組として全国の空港に展開できる可能性もあると思っています。

また今後は、羽田空港との定期便を現在の1日3往復から4往復へ増便することをめざすほか、海外からのチャーター便の誘致も進めることで紀南地域の発展にさらに貢献できる空港をめざしていきたいと考えています。\*航空機へ鳥が衝突すること。

## 県民の皆さんへのメッセージをお願いします

県民の皆さんには、和歌山の魅力を改めて感じていただけたらうれしく思います。実際に県民の方とお話すると、「和歌山には何もない」とおっしゃる方もいらっしゃいますが、決してそのようなことはありません。熊野古道をはじめ、温泉や美しい海岸、豊かなフルーツや新鮮な魚介といった食の魅力など、和歌山には世界に誇れる資源が数多くあります。

こうした魅力を、「和歌山は良い所だからぜひ来てください」と、ぜひ県外の方にも伝えていただければと思います。そして、空港を利用して和歌山を訪れる方が、これからさらに増えていくことを願っています。



和歌山市クルーズ客船受入協議会  
(事務局:和歌山市観光課)  
北野 勇貴 さん

港からまちへクルーズ船が運ぶ活気

## クルーズ客船が地域に与える影響は？

クルーズ客船の乗客の方がまちで買い物や観光を行い、公共交通機関等を利用することで、地域での消費促進や外貨獲得につながっています。

また、港では県産品の販売を行い、地元事業者が出店できる仕組みを整えるなど、地域との連携も進んでいます。

## クルーズ客船受入の取組内容や課題は？

和歌山を訪れる乗客の皆さんを温かく迎えるため、和歌山下津港では、次の3つの取組を行っています。

1つめは、ボランティアによる観光案内です。港やシャトルバスの乗降場所において、登録ボランティアの皆さんが英語や中国語での案内を実施するなど、受入体制の充実を図っています。

2つめは、クルーズ客船のお見送りイベントです。出港時には、高校生の書道パフォーマンスや地元の子どもたちによる合唱イベントで乗客をお見送りしています。

3つめは、和歌山市内での消費促進です。市内の飲食店や土産物店等を専用チラシで紹介するなど、まちでの消費活性化に取り組んでいます。

乗客へのアンケートからは、和歌山市内での史跡や景観の観光がまだまだ中心となっており、買い物や飲食などの消費については、なお伸びしろがあることが明らかになりました。



書道パフォーマンス

## 県民の皆さんへのメッセージをお願いします

港では県産品の物販や、出港の際のお見送りイベントを行っていますので、県民の皆さんも、ぜひ気軽に港へ足をお運びください。地域全体で歓迎ムードをつくることで、さらに和歌山への寄港が増え、地域の豊かさにつながっていけばと考えています。